

投資事業評価調書(新規)

部課室名	県土整備部土木局 道路建設課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 河南 嘉彦 (尾原 勉)	内線	4 3 6 2 (4 3 7 6)
------	-------------------	---------------------	--------------------	----	----------------------

事業種目	道 路	事業名	事業区間	総事業費	約5億円 (うち用地補償費 0.5億円)
		(一)岩見揖保川線 県単独事業	揖保郡御津町岩見 L = 220m		

所在地	着工予定年度	完成予定年度
揖保郡御津町岩見	H15年度	H19年度

事業目的	事業内容等
<p>山陽道自動車道、国道2号、国道250号などの広域幹線道路を結ぶ龍野・揖保川・御津連絡道路構想「愛称はりまふれあいロード」の南端に位置する形状不良の交差点を改良整備するものである。</p> <p>これにより、国道250号からの交通がスムーズになり、交通事故の減少のほか、臨海部の産業拠点、観光施設等の活性化等、地域振興にも寄与することとなる。</p>	<p>交差点改良</p> <p>岩見揖保川線 延長：220m</p> <p>国道250号 延長：295m</p> <p>現況幅員：2車線 5.5(7.0)m</p> <p>計画幅員：2車線県道部 6.0(7.5)m 2車線国道部 6.5(8.0)m</p> <p>現況交通量：1,804台/日</p> <p>計画交通量：7,200台/日</p>

評価視点	評価内容
<p>(1)必要性</p> <p>地域の活性化</p> <p>安全・安心を確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域間の交流が促進され内陸部から臨海部の産業、観光拠点へのアクセスが向上されることにより地域の活性化に寄与する。 ・ 室津方面からの左折が対抗車線へはみださないと進入できない交差点であり、本事業により、交差形状が改善されることから、交通の安全が確保される。 ・ 広域防災拠点である播磨科学公園都市と播磨臨海部等のアクセス性が向上し、災害時、緊急時における救助、救援活動に資する。
<p>(2)有効性・効率性</p> <p>有効性</p> <p>代替性</p> <p>効率性</p> <p>(事業執行環境)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県道岩見揖保川線は2車線整備済みであり、南北幹線道路「はりまふれあいロード」の臨海部側起点としての交差点部を改良することで、即効果が発現できる。 ・ 厳しい地形条件等から、低コストで効率的、効果的な整備を行う本計画が最適である。 ・ 地形が急峻な斜面であり人家への影響等の少ない工法を採用することとしている。 ・ 安全確保から地元住民の要望が強く、円滑な執行に協力体制にある。
<p>(3)環境適合性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法面等に植栽することにより環境への影響を最小限とする。
<p>(4)優先性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通安全上、早期に事業着手が必要である。 ・ コスト縮減の観点から、建設残土の工事間流用を図ることとしており、受入れ先となる岩見漁港地域水産物供給基盤整備事業の工程上、平成15年度着手が必要である。